

## 平成19年度 事業評価書

地 域 名	富山県高岡市	選定年度	H17年度	事業規模	大規模事業
まちづくり協議会名	高岡市環境と経済の好循環のまちモデル協議会				
モデル事業名	高岡市環境と経済の好循環のまちモデル事業				

### 1. 事業の実施状況

委託事業	事業 期 間	H17年度	普及啓発事業等として、省エネ見学ツアー、省エネ講習会、たかおかエコネットワークづくり事業等を実施。また、啓発パンフレットを作成。
		H18年度	普及啓発事業等として、地域公共交通活用モデル事業、たかおかエコネットワークづくり事業、省エネ見学ツアーなどを実施。また、エコライフ普及のためのカレンダー型絵本を作成。
		H19年度	交付金事業で整備した施設をはじめ、環境資源マップの掲載予定地をめぐるツアーを実施。
交付金事業	事業 期 間	H17年度	金属溶解炉モデル改修事業として、金属溶解炉に廃熱回収装置を取り付ける省エネを目的とした改造を行う。 また、バイオディーゼル燃料化事業として、学校給食等の廃食油をBDFとして再生する。
		H18年度	木質バイオマス燃料化事業として、木質廃パレット等をチップ化し、ボイラー等の燃料として圏域内工場等に供給するためのチップ燃料製造施設を整備。
		H19年度	省エネ名人の家事業として、家庭用ガス発電コージェネレーションシステムを導入する「マイホーム発電コース」と、複層断熱サッシ、潜熱回収型ガス給湯器やヒートポンプ式給湯器など、高効率機器を導入する「省エネシステムコース」を設定し、市民への公募を実施。

### 2. 評価・分析

①事業の特色・モデル性	<p>地元のサッシ産業に着目し、複層サッシ等の普及により一般家庭の省エネを推進するとともに、地域産業の振興を目的としている。</p> <p>さらに、省エネ名人の家事業は、一般家庭に導入する省エネ設備の種類による点数制を導入し、総得点数に応じて助成額を決めるところに工夫が見ら</p>		
②環境保全効果 (二酸化炭素排出削減効果等)	二酸化炭素排出削減効果	備 考	
	目 標 値	15,623	H16年度、H17年度、H18年度事業分
	実 績 値	13,652	H16年度、H17年度、H18年度整備施設のH19年度稼働実績
	(目標値・実績値単位:t-CO2/年)		
<p>・地域省エネルギー推進事業(金属溶解炉モデル改修事業) ほぼ目標を達成している。今後は、さらに効果を上げるための努力を行うと共に、他の企業への普及を図る等、CO2削減取組みの拡大を期待する。</p> <p>・廃食油バイオディーゼル事業 CO2削減目標値以上の効果を得られており、評価できる。今後は製造量を増加させる事等で、さらなる効果をあげることを期待する。</p> <p>・木質バイオマス燃料化事業 今年度は目標値を達成できなかったが、9割近い達成率である。今後も目標達成に向け、引き続き努力されたい。</p> <p>・省エネ名人の家事業 申請数128件に対し、早期設置ができた世帯は8件であった。早期設置世帯のCO2削減効果の測定結果を、総件数、通年に拡大した試算を行うと、目標値の7割程度となる。事業としての成果は今後待つところが大きい。</p>			

地 域 名	富山県高岡市	選定年度	H17年度	事業規模	大規模事業
③経済活性化効果	<p>地域省エネ推進事業            導入主体は、燃料経費節減による直接効果が得られている。納入主体は、設備のメンテナンス等による売上増加分の直接効果が得られている。また、導入主体の収益性が向上し、客先からの増量要請に応えることができるなどの間接効果も得られている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃食油バイオディーゼル事業                燃料製造の費用は軽油購入費用とほぼ同等であるため、導入主体の経費削減等は見込めない状況である。納入主体については、設備のメンテナンス等による売上増加等があり、経済効果となっている。</li> <li>・木質バイオマス燃料化事業                燃料経費節減による直接効果のほか、納入主体の設備メンテナンス等による売上増加による経済効果が得られている。</li> <li>・省エネ名人の家事業                設備の製造・設置による生産額の増加分による、初期投資の経済効果が得られている。</li> </ul>				
④その他					